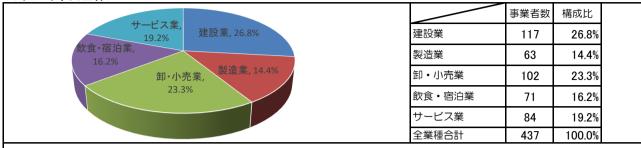
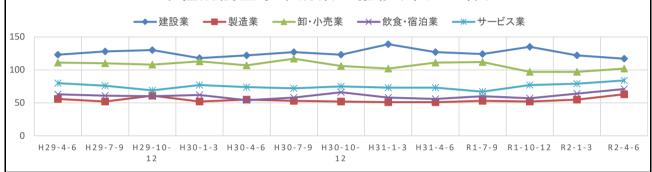
小規模事業者以外含む全事業所

### ◇ 調査対象事業所構成割合

### <十日町市内全体>



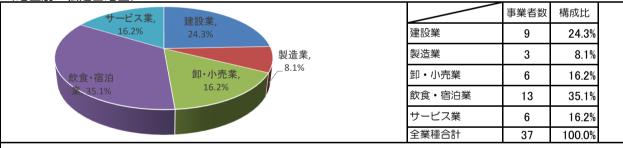
# 業種別調査事業所数の推移(市内全体)



### <コメント>

今回の調査から、十日町商工会議所と十日町市内5商工会地区のデータを統合して集計することとなり、前回までの調査よりも多くのサンプル数が得られている。業種も大きなバラツキのない構成割合となっている。

### <地区別:松之山地区>



# 業種別調査事業所数の推移(地区)



### <コメント>

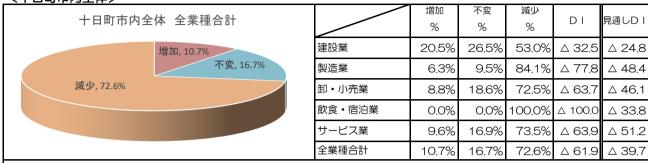
松之山地区の今回の調査回答状況は、配布64事業所の内37事業所からの回答があり、回収率は57.8%であった。卸・小売業からの回答が減少していることもあり、推移グラフの波形を見て分かるが、前々回と同じようなバランスとなっている。

### D I 値 (景況判断指数) = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

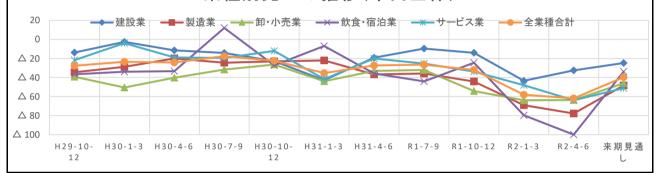
### 1. 売上について

・4月~6月の売上は前年の同期に比べてどうですか?

### <十日町市内全体>

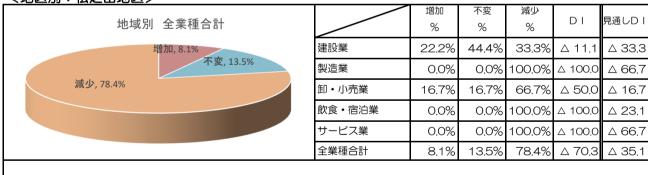


## 業種別売上の推移(市内全体)

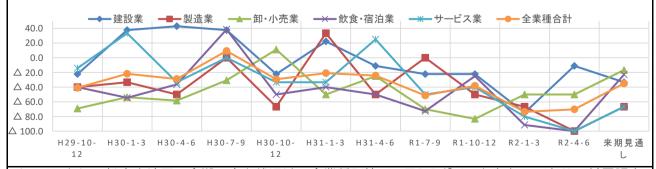


<コメント> 十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△61.9ポイントで、前回調査時よりも3.9ポイント減少であった。建設業にて10.9ポイントの増加となっているが、製造業、飲食・宿泊業、サービス業で大きく減少している。特に飲食・宿泊業は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けており、△100ポイントと、過去に無い数値を示している。

### <地区別:松之山地区>



## 業種別売上の推移(地区別)

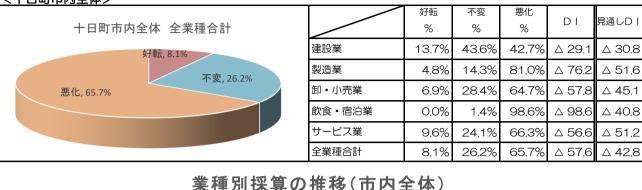


〈コメント〉 松之山地区の今期の売上状況は、全業種DI値で△70.3ポイントとなっており、前回調査時よりも3.4ポイント増加している。冬期間の小雪による影響を大きく受けた建設業の売上増加があり、このような結果となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた飲食・宿泊業をはじめ、製造業、サービス業においてもDIは△100ポイントであった。

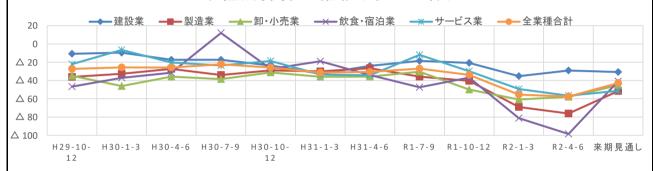
### 2. 採算について

・4月~6月の採算は前年の同期に比べてどうですか?

### <十日町市内全体>

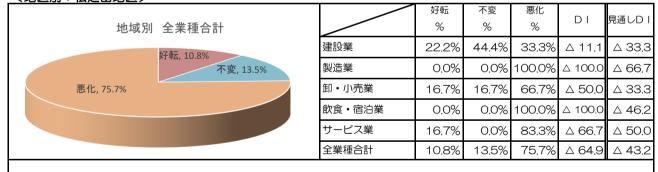


## 業種別採算の推移(市内全体)

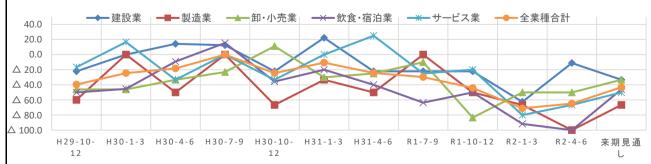


- 十日町市内全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△57.6ポイントで、前回調査時より <コメント> も2.2ポイントの悪化となっている。業種別採算状況も売上状況と同様で、製造業、飲食・宿泊業、サー ビス業にて悪化が示されている。ただし、来期見通しにて今期よりも好転予測されている業種が多く、 今後の動向に注視したい。

### <地区別:松之山地区>



# 業種別採算の推移(地区別)

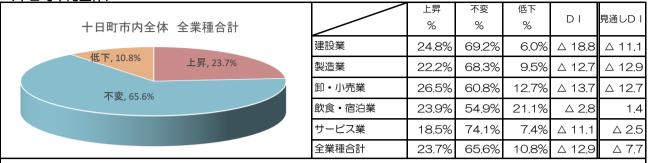


松之山地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△64.9ポイントで、前回調査時よりも 6.2ポイント好転となっているが、売上状況と同様で建設業の好転があったものの、製造業、飲食宿泊業 において全ての事業所で悪化を示している。来期見通しにおいて、飲食宿泊業をはじめ、製造業、卸・ 小売業の好転予測があり、実際の数値に期待したい。

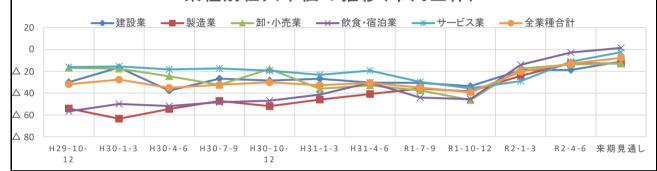
### 3. 仕入単価について

・4月~6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか?

### <十日町市内全体>

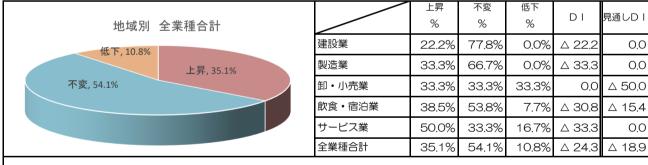


## 業種別仕入単価の推移(市内全体)

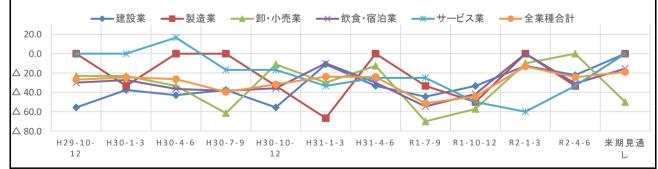


<コメント> 十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△12.9ポイントで、前回調査時よりも7.5ポイント低下であった。不変回答が多いものの、ほぼ全業種で低下となっており、来期見通しにおいても今期よりも低下するものと予測されている。

### <地区別:松之山地区>



## 業種別仕入単価の推移(地区別)

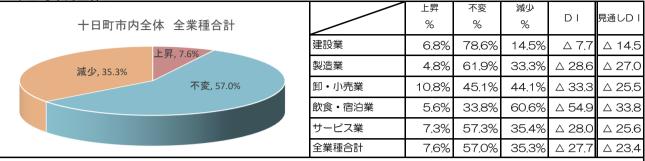


〈コメント〉 松之山地区の今期の仕入単価の状況は、全業種DI値で△24.3ポイントで、前回調査時よりも11.1ポイント上昇となっている。卸・小売業とサービス業にて低下を示していたが、その他の業種で上昇がありこのような結果となっている。来期見通しの全体DI値は、若干であるが低下予測されているものの、卸・小売業において大きな単価上昇予測があり、注視しなければならない。

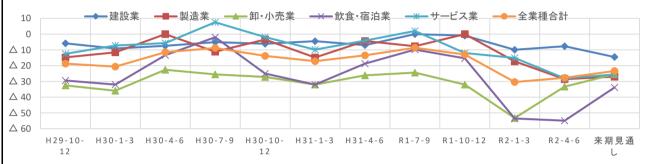
### 4. 販売(客)単価について

・4月~6月の販売(客)単価は前年の同期に比べてどうですか?

### <十日町市内全体>

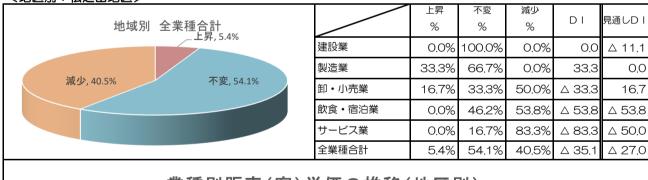


## 業種別販売(客)単価の推移(市内全体)

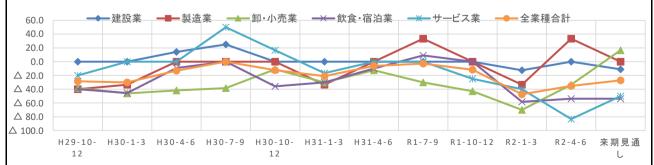


〈コメント〉 十日町市内全体の今期の販売(客)単価の状況は、全業種DI値で△27.7ポイントで、前回調査時よりも2.7ポイント上昇であった。卸・小売業にて20.0ポイント上昇が見られ、新型コロナウイルス感染症の関係で「ステイホーム」が実施されたことがこのような結果となっているものと推測できる。飲食・宿泊業で厳しい状況がうかがえるが、来期見通しの上昇予測に期待したい。

### <地区別:松之山地区>



# 業種別販売(客)単価の推移(地区別)

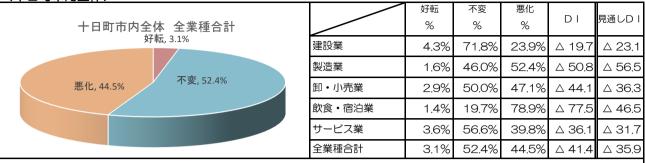


<コメント> 松之山地区の今期の販売(客)単価の状況は、全業種DI値で△35.1ポイントで、前回調査時よりも12.3ポイント上昇している。新型コロナウイルス感染症により「ステイホーム」が実施されたことから卸・小売業の伸びがあったものと推測できる。来期見通しにおいても同様で、卸・小売業にて上昇予測されている。

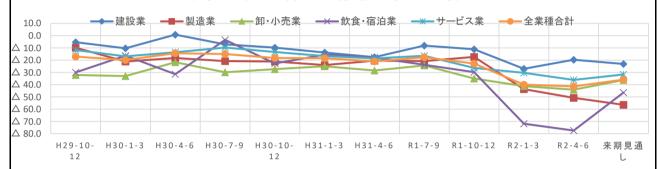
### 5. 資金繰りについて

・4月~6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか?

### <十日町市内全体>

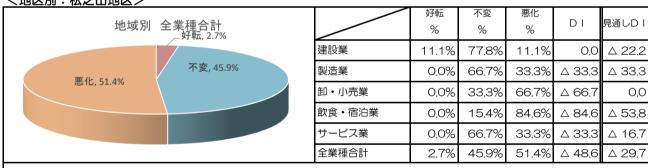


## 業種別資金繰りの推移(市内全体)

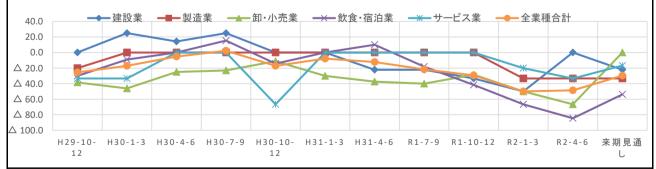


<コメント> 十日町市内全体の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△41.4ポイントで、前回調査時よりも1.3ポイントの悪化であった。業種別では売上状況と同様で、建設業で好転となっているがその他の業種で悪化が示されており、特に飲食・宿泊業にて大きなマイナスポイントが続いている。来期見通しの回復予測に期待したいところである。

### <地区別:松之山地区>



# 業種別資金繰りの推移(地区別)

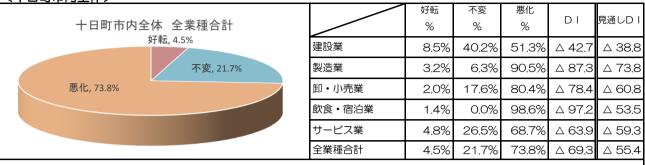


<コメント> 松之山地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△48.6ポイントで、前回調査時より も1.4ポイント好転している。建設業にて大きな好転が示されていたが、卸・小売業、飲食宿泊業、サービス業にて大きく悪化していることがわかる。ただし、来期見通しにてこの3業種も上昇予測があることから、今後の動向に注視したい。

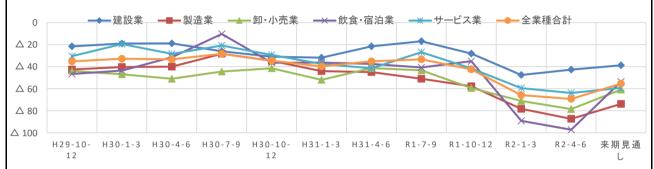
### 6. 景況判断について

・4月~6月の景況は前年の同期に比べてどうですか?

### <十日町市内全体>

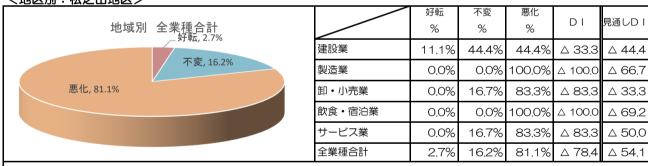


### 業種別景況判断の推移(市内全体)

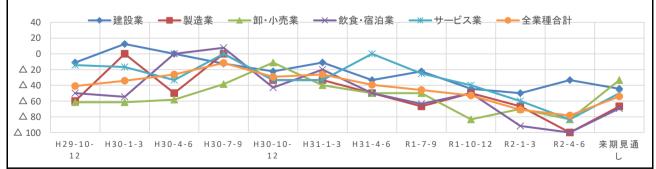


〈コメント〉 十日町市内全体の今期の景況判断は、全業種DI値で△69.3ポイントで、前回調査時より も3.6ポイントの悪化であった。建設業のみ前回調査時よりも好転であったが、その他の業種は悪化が示 されており、多くの業種にて新型コロナウイルス感染症の影響があったものと推測できる。来期見通し において全ての業種で今期よりも好転予測があり、今後の動向に注視したい。

### <地区別:松之山地区>



# 業種別景況判断の推移(地区別)

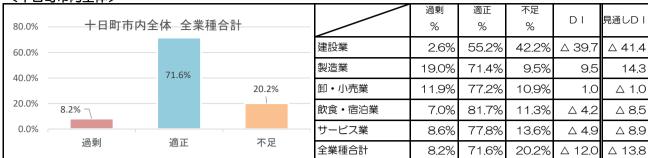


<コメント> 松之山地区の今期の景況判断は、全業種DI値で△78.4ポイントであり、前回調査時よりも7.3ポイント悪化している。建設業以外の業種すべてで悪化が示されており、観光産業が主幹産業となっている当地では、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けていることがわかる。ただし、来期見通しにおいて好転予測されていることもあり、今後の動向に注視したい。

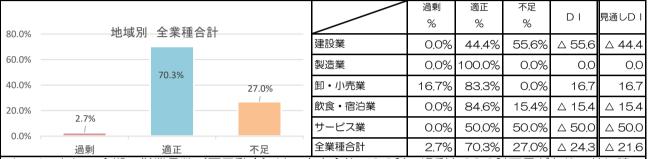
### 7. 従業員数について

・4月~6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか?

### く十日町市内全体>



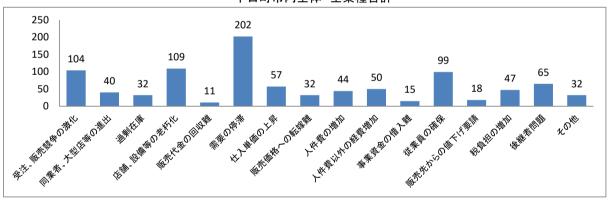
### <地区別:松之山地区>



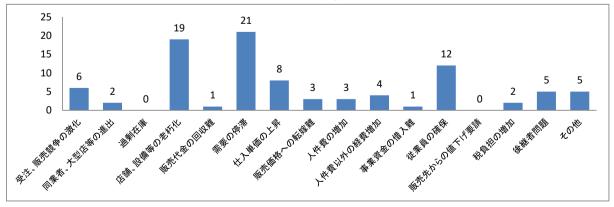
<コメント> 今期の従業員数(雇用動向)は、市内全体で8.2%の過剰と20.2%不足があり、特に建設業での不足が大きく出ている。松之山地区の状況は、適正回答が一番多いものの、建設業と飲食・宿泊業、サービス業にて不足回答があり、従業員不足を感じている事業所は全体の約3割であった。過剰との回答は、卸・小売業から出ており、来期も大きな変動は無いものと思われる。

### 8. 経営上の問題点(上位3つ):4月~6月

### 十日町市内全体 全業種合計



### 地域別 全業種合計



<コメント> 今期調査での経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「店舗、設備等の老朽化」 3位が「受注、販売競争の激化」であった。次いで多いのが「従業員の確保」であり、3位と4位の回答 数も僅差であり、人材不足が今後の地域の課題と言えそうである。

松之山地区の経営上の問題点は、1位から3位まで前回と同様で、「需要の停滞」「店舗、設備等の 老朽化」「従業員の確保」の順となっているが、1位と2位の回答数が僅差となっている。

#### 9. 地区の景況概要

・4月~6月時点での全体概況は

### 【建設業】

今期の建設業の状況は、前回調査時が冬季の降雪期でもあり、小雪により大きく悪化していた状況からの反動で、売上、採算において大きく好転してる結果となっている。資金繰り状況においても今期は好転回答が多くあったが、来期見通しにおいて、売上減少や資金繰り悪化の回答が多くあり、今後の動向を注視したいところである。経営上の問題では「従業員の確保」が1位を継続している。

### 【製造業】

今期の製造業の状況は、売上、採算、景況判断において減少(悪化)が大きく示されており、新型コロナウイルス 感染症により経済活動が停滞したことが影響したものと推測できる。ただし、仕入単価の低下と販売単価の上昇 もあり、資金繰りについては前回調査時と同様のポイントで推移している。来期見通しにおいて売上も上昇予測さ れていることから、今後の動向に注視したい。経営上の問題では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。

### 【卸·小売業】

今期の卸・小売業の状況は、売上、採算、販売(客)単価において、前回調査時と同様若しくは上昇を示しており、「ステイホーム」による一般消費の増加があったものと推測できる。ただし、資金繰り、景況判断においては前回調査時よりも悪化を示している。来期見通しでは、資金繰り、景況判断も大きく好転予測されており、見通し通りの数値に期待したい。経営上の問題では、「需要の停滞」と「店舗設備等の老朽化」が多く回答されている。

### 【飲食·宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、新型コロナウイルス感染症の影響を一番受けた業種でもあり、4月~5月はほぼ休業状態だったことから全ての項目にて減少(悪化)を示している。来期見通しでの回復予測が実際どこまで伸びるかに注目したい。経営上の問題点では、卸・小売業と同様で「需要の停滞」と「店舗設備等の老朽化」が多く回答されている。

### 【サービス業】

今期のサービス業の状況は、売上、販売(客)単価において減少が示されており、資金繰り、景況判断も悪化となっているが、来期見通しにおいて改善予測されていることから、実際の数値に注目したい。 経営上の問題点では、「需要の停滞」と「従業員の確保」が同数で多く回答されている。